

第3回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成30年3月29日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成30年3月29日（木）午前11時22分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
3 番 佐藤 武君 4 番 佐々木雄司君 8 番 治徳 義明君
9 番 原田 素代君 12 番 北川 勝義君 13 番 福木 京子君
16 番 下山 哲司君
18 番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 倉迫 明君
教 育 長 内田 恵子君 総合政策部長 作間 正浩君
総 務 部 長 前田 正之君 教 育 次 長 藤井 和彦君
総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成30年4月行事予定について
2) 平成30年6月定例会の会期日程（案）について
3) 議会報告会の開催時期について
4) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） 皆さんおはようございます。

ただいまから平成30年第3回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） 皆さんおはようございます。

いよいよ春でございますけども、しっかりこの予定含めて、議会のための予定を審議いただいて、お願いをしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成30年4月行事予定について。

はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） おはようございます。

それでは、4月の行事予定（案）について御説明をいたします。

議会の主なものを中心に御説明をいたします。

まず、4月3日火曜日10時から議会広報編集特別委員会を開催します。

13日金曜日13時30分から議会広報編集特別委員会を開催します。

16日月曜日10時から厚生常任委員会となります。

17日火曜日は10時から総務文教常任委員会となります。

18日水曜日は10時から議会改革検討委員会を開催いたします。

23日月曜日は10時から産業建設常任委員会となります。

24日火曜日10時から議会広報編集特別委員会となります。

27日金曜日が10時から議会運営委員会となります。

会場、出席者についてはそちらに掲載のとおりであります。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） それでは、今御説明があった以外の市の行事予定について御説明させていただきます。

4月2日ですが、8時45分から市の職員辞令交付式がございます。それから、14時30分から教職員着任・新任式ということになっております。

4日水曜日ですが、13時から県の副市長会議という予定になっております。

6日金曜日ですが、9時から春の交通安全県民運動の出発式のほうを中央図書館の前でやら

せていただきます。

それから、飛びまして18日水曜日ですが、13時から県の市長会議がございます。

それから、20日金曜日14時から山陽地域区長会。

23日月曜日、山陽・桜が丘西・桜が丘東連合町内会会長会議。

それから、26日木曜日ですが、13時30分から赤坂地域区長会。

27日金曜日13時30分から吉井地域区長会。

5月1日に14時から熊山地域の区長会という予定になっております。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明が終わりました。

委員さんから何か質疑がございますか。

○委員（北川勝義君） ちょっとええですか。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は余り気分ようねえんじゃけど、4月1日に柵原、バスがしてくれる協定の調印及び出発がある。先に先に何か来とって、後からになるんで気分的に悪いのもあるんじゃけど。向こうの町長さんに抗議したら、いや、わしじゃねんじゃと。町長の名前で来とったけど、まあそれはええんじゃけど。

そこで、議長、総務文教常任委員長というのに、地元で下山委員が地元の、2人しかおらんので、あるんで、できたら御案内いただけりゃあええんじゃねえかなあと。僕してくれと思うたんじゃけど、どんなんじゃったんかなと思うて、ちょっと確認を。

○総合政策部長（作間正浩君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 下山委員さんにも御案内が来ておりましたので、手渡しさせていただきます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） わかりました。じゃからそけえ書いてねえけん、今思うたん。今ちょっと思うたんで、例えば北川、下山と書いてもろうたらわかりやすかったん。わかりました。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ次に進んでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、協議事項2番目、平成30年6月定例会の会期日程（案）について。

はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料の平成30年赤磐市議会スケジュール表5月、6月の案を見ていただきたいと思います。

今回については、6月定例会を6月8日金曜日に開会する日程で組ませていただいております。

その関係から、1週間前の6月1日金曜日13時30分から議会運営委員会、引き続き14時30分から議会全員協議会の開催となります。

この関係から、一般質問通告の受け付けは5月23日水曜日8時30分から始まり、5月29日火曜日17時を締め切りといたしております。

6月の定例会は6月8日金曜日が本会議で議案の上程となります。11日月曜日は予備日となります。12日火曜日と13日水曜日の両日は一般質問といたしまして、14日木曜日及び15日金曜日を予備日といたしております。18日月曜日は本会議で質疑、委員会付託となります。19日火曜日は予備日といたします。

各常任委員会につきましては、20日水曜日に総務文教常任委員会、21日木曜日に厚生常任委員会、22日金曜日に産業建設常任委員会といたしております。25日月曜日を予備日といたしております。最終日を29日金曜日とする本会議を開催する案といたしております。

御説明は以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明ございました。

委員さんから何か質問ございませんか。

○委員（北川勝義君） 下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 委員長、いつも思うんじゃけど、5月の議会予定というような、これ一般質問があったりするけえ、受け付けのあるけえ入れとるだけじゃろう、たまたま言うたら。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） 5月のスケジュール表なのに、いつも思うて。6月の定例会にいつもするんじゃ。例えば今、わかるか、言ようること。これは何か、大変申しわけ、できりやあ事務局のほうが議会事務局とか議会だけでもえんじゃけど、議会の関係だけじゃけえ、いうたら。何か、わかるのがあったら前もって入れてほしいんじゃ、5月も。わかるか、言ようこと。スケジュールが大体後から入るんもあるうけど、5月というたら大体イベントや何やかやするときになるんで、例えばアユの放流祭とかいつも決まってあったりする、それいつぐれえ決まっとる、ぼんぼんに入れてくれとったほうがやりやすいというていうたら、いっつも、例えばというたら、9月になっても、7月には、8月のはせんのにもう9月のをいっつもやるが

ん、こういう状態で。そしたら、後からこんだら、9月のはしとんじゃけど、8月のときに間が入ってくるからというのを言っていたん。今後もしわかる……。

○委員長（下山哲司君） これは議会の分だけで。

○委員（北川勝義君） そうじゃ、そうじゃ。

○委員長（下山哲司君） 行事予定とはまた別なんで。

○委員（北川勝義君） 違うが、それじゃったらこけえ書かんでもええが、この行事予定のも。議会じゃけど行事予定というのは、これの、4月の行事予定をしょうろう、今。今3月じゃ、4月の行事予定をするんが原則じゃが。せえでもう、5月はせんのにたまたま一般質問の通告締め切りがあるから5月つけとるだけじゃがな、局長。じゃあけど、6月のが出てくるんじゃけえ、5月のも絶対決まっとんがあるがん、例えばここやこう言うたら、布都魂神社やこう、そねえなんは後でもえんじゃけど、決まっとんがあつたら入れてほしいということを言いたかったん。後から間へ入ったら、なかなかつきにきいということを言いたかっただけじゃ。市の行事予定を入れてくれ言よんじゃのうて。

○委員長（下山哲司君） わかりました。

○委員（北川勝義君） だけ言いたかったん。今後できる範囲でええんで、今思うて。

○委員長（下山哲司君） 協議してまた考えさせていただきます。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ次に進んでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 協議事項3番目、議会報告会の開催時期についてということで、昨年の11月に開催した議会報告会について、班長会議で協議を行いました。その内容として報告させていただきます。

協議の中で反省点やアンケート結果をもとに平成30年度の案を検討いたしました。

班長会での案といたしましては、平成29年度と同様に開催は1回とし、時期については10月中旬から11月中旬ごろがよいのではという内容でございました。

○委員（北川勝義君） よろしいか。

○委員長（下山哲司君） ちょっと待ってください。

議会報告会実施要綱では、開催時期については議会運営委員会で決定をいただくということになっておりますので、ここで10月中旬から11月中旬ごろの開催についての御協議をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ええか。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 皆さん決められてくれること代表で出られとんじゃけえ別にどうこう

言うんじゃねんじゃけど、僕はちょっと個人的に腹立たしいのもあるんで、行きとうもねえもんもあるんじゃ、決まったことは守ってせにゃおえんじゃけど、ただ選挙があるから延ばしたりおくれたりして、1年に2回はするような感じになっとったはずなんじゃ。それで、結果的にせんもんじゃったらもう、内容を変えて1回にするとせにゃあおえん。1回以上とか、例えば2回はするように書いとったから。選挙があるから1回にしましょうとかというて、選挙の年じゃけえというてしとんの、今までできなくて、今時期が遅う決まったから1回しかできなんだというのがあるんで、ちょっともう一遍皆さんで会議をしていただいて、僕の意見よ、会議をしていただいて、別に議会報告だけじゃのうてもええから、議会報告という形が報告じゃのうてもええんで、例えば7月に1遍するとか、議会のねえとき。それから、11月でもええが、2回するぐれえなんしたら、地域の方が地域に行けれん場合がありますが。ほんなら地域のところへ1回は行けるようにしてあげりゃあ。どんなかわからん、やり方。できたら。時間やこう皆お任せするんじゃけど、議会の報告会ねえときには12月とか、例えば1月でもええわ、例えばというたら11月のときは議会報告を兼ねてできますが。じゃけえ、そのときは議会報告のうても、ただ、今皆さんの意見を聞くのも一つあるけん、もう一遍何かしてもらやあええんじゃねえかなあと思う。それで、去年の反省点の時間的なこと、僕らも悪う書かれとるけええんじゃけど、時間的なこともあつて、ちょうど食事をしてこにゃあおえんような人もおったりするし、夜ばあがえんかなあと思うたり。時間的なことが、夜しか集まるんがええといやあそうじゃけど。結果、夜今までやってみて集まった数は知れとろう。かえって、逆に、お母さんらが来りゃあ、保護者というたらおえんけど、昼のときにするとか、土曜とか日曜というのでも必要なんじゃねえかなあとちょっと今思うたん。そこらももし、もうこれだめなんじゃと、決めとんじゃと言われたらあれじゃけど、ちょっとそこらも考えてもろうたほうがええんじゃねえかなあと思うたんですけど。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） たまたま関係ねえんが僕ぐれえなもんじゃねん。じゃろ、委員じゃろう。

○委員長（下山哲司君） そういうことですね。

○委員（北川勝義君） 僕以外ぐれえじゃろう。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） じゃけえ、皆さんがそれでええというて決められとんじゃったらえんじゃけど。福木さんもいた。ごめんごめん。今思うたら、2回また1回というたら選挙のときじゃったけえ1回というのは、それは格好通るんじゃけど、今度は1回というたら、何か言われるんが怖えとかというんじゃねんじゃけど。もし考える余地がなかったら結構じゃけど、ちょっと今そう思うて。それは決まったことには従うんじゃけど。僕聞いたのは、地元にも行きてえんもあつて、それからできたら昼はどんなんという話を言わりようた人がおったから、

そこんところ話が……。

○委員長（下山哲司君） とりあえず日程を決めていただいたら、この議運で。内容については班長会でまた協議が……。

○委員（北川勝義君） 違うが下山さん、ちょっと待って、それ。班長会へ任せとんじゃけえ出てもらうてもええんじゃけど、日程を決めるという、今2回ぐらいする言ようたんが1回になる、たまたま。みんな思い出してもらやあええ、選挙のときだけ1回にしましょうと言うたと思うんじゃ。今度は選挙終わったんじゃから、終わってきて1年なって。去年も選挙あつて1回しかしてねえからもう一遍するというて2回ぐれえするとか今後検討してください。結果的にというやったら初めから1回にしときやあええ、口で言うだけじゃったら……。

○委員長（下山哲司君） いろいろ、北川委員言われるように、話がありました。

○委員（北川勝義君） せえで、地元の人が、地元へ来られんのんじゃなあとか言うたりして、そりゃあ班分けじゃけんというんで、ほんなら2回でもすりゃあええがと。それで、1回は昼でもしたらどねえなんならという話が、ちょっと女の人やこう行きやすいからという話が出とつて。この間の、ちょっと要らんこと言う、福木さんの話も出たんじゃけど、皆、下山さん、通学対策のつけてくれたということはええことで、少ねえけどというような話から、少ねえけどというて、そういう意見も、昼やこうじゃったらお母さんらが来たらそういうことも、意見を聞きたかったというのがあるらしいんじゃ。じゃから、女性の声というか、保護者のときにちょうどええんかなと思うだけで。

○委員長（下山哲司君） 内容的には、班長会においては、今回は1回でということ。

○委員（北川勝義君） いっつもじゃが。

○委員長（下山哲司君） 協議的にはいろいろお話をしていただいた中で、今の委員がことしでまた改選なんで。

○委員（北川勝義君） 11月のとかという、12月にしたらもう絶対できんがな。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○委員（北川勝義君） じゃけえ、僕言った、たまたまじゃ、7月とかすりゃあもう一遍できやすかろうというのを言いたかっただけで、何を趣旨にしとんかわからんけど。

○委員長（下山哲司君） ちょっと僕も全部が頭に入っていないんで、話としてはいろいろあつたんですけど、今回はもう1回はこの形でというんで一応。

○委員（原田素代君） いいですか。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員、補足できますか。

○委員（原田素代君） いや、逆なんです。班長会で治徳さんが報告されたんですね。来年も1回で11月ごろって。

○委員長（下山哲司君） そうです。

○委員（原田素代君） 私は班長会休んだ日ですかね。私は班長会でそんな決定を聞いた覚え

がないんです。だってあり得ないでしょ。皆さんのアンケートを見てそれを生かそうっていう話で今回は進めていくことになってたし、そもそも1回なんてあり得ないし、もっとたくさんしようっていう話もあるし、おっしゃるように、休みの日だとか若い方がおいでになりやすい日とか、そういうことをしましょうっていう話をしたやさきに、班長会で11月1回に決まったっていう記憶が私にはないので。ちょっと逆に驚きなんです。

○委員長（下山哲司君） ちょっと内容について……。

○委員（治徳義明君） 私が1回だという話はしたことはないです。班長会でですよ、班長会でと言われるから。班長会で僕、そんな仕切る立場でもないの。

○委員長（下山哲司君） 治徳さんがしていただいたのは……。

○委員（治徳義明君） 議運でしょう、議運で1度同じ御報告をさせていただいたら、期が違いうから、期が新しくなる時点でもう一度してください、仕切り直してくださいという北川委員の御意見だったんで、わかりましたということで。

○委員（北川勝義君） それは議運で言うたんで、議運の中で。

○委員（原田素代君） だから、差し戻してくださいって。

○委員長（下山哲司君） だから、班長会の報告を、僕が委員長だったから治徳副委員長に報告をしてもろうたんよ。

○委員（治徳義明君） その報告の時期が違うんじゃないですかという……。

○議会事務局長（奥田吉男君） 濟いません、委員会なのでマイクを入れてください。

○委員（治徳義明君） 濟いません。そのときに、報告の時期が違うんじゃないですかという北川委員の御意見があったんで、それは皆さんが、そりゃそうですねみたいな話になって、仕切り直して今回適切な時期に委員長のほうから報告があって。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 確認ですけど、そのときの報告の中身は何ておっしゃったんですか。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今の、同じです。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） ということは、班長会で決まったってことですか、年1回。

○委員長（下山哲司君） そうです、今回については。

○委員（原田素代君） 私、記憶がないんですけど。記憶ありますか。

○委員（治徳義明君） 濟いません。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 昨年やったのが、いろんな形を変えて、懇談会という形でやったの

で、1回きりでまた変えるというよりも、一、二回は継続してやってみる必要があるんじゃないですかといったような意見が主だったような感じです。

○委員長（下山哲司君）　そうです。

はい、佐藤委員。

○委員（佐藤　武君）　済いません、班長会議も正式な記録がないんで、私もはっきりとは覚えてないんですが、座長が30年度の開催について何回にするかと、時期はいつごろにするかというようなことで提案があって、それで若干班長会議の中でその話題は出たと認識しております。その中で、1回ということではいかしてもらおうかなという話があったのは覚えてます。

○委員（治徳義明君）　済いません。

○委員長（下山哲司君）　治徳委員。

○委員（治徳義明君）　要は、アンケートの中で、時期について10月、11月が妥当じゃないですかというようなアンケートがたくさんあって、それを前提にして先ほど申しましたように、前回懇談会という形に変えてるので、またいろんな意見は出たけども、もう一度同じような形でやりましょうというような皆さんの御意見だったと思います。僕の意見じゃないですよ、皆さんの御意見だった。

○委員長（下山哲司君）　原田委員。

○委員（原田素代君）　最初、私がたしか発言したと思うんです。一刻も早く年1回じゃなくてたくさんやらなきゃいけないから、もうその議論をしましょうと。そうしたら、そのときに座長が、今は早いとおっしゃられたんです。私は、とにかく複数回、それもいろんなやり方で、それで事務局長もサポートで、あんなに時間をかけた報告じゃなくて議会だよりを持って、議会だよりで話をしたらいいじゃないかと。そうしたら回数もふえるし、こちらから行けるよってというような話をしたんだけど、決めるときにはまだ座長が今ではなくて、年度かわってからその議論はしてくれって言われたんです。私、そこまでは覚えてるんです。どうでしょう。

○委員（治徳義明君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君）　済いません。北川委員さんのほうからもそういった御意見でありますし、班長会のメンバーでは……。

○委員長（下山哲司君）　そういうこと言うたらいいけん。班長会で決まっとんじゃから。

○委員（北川勝義君）　ちょっと待って。

○委員長（下山哲司君）　はい、北川委員。

○委員（北川勝義君）　ルールというんか、もとの議会基本条例決めてから、その中の流れの中で、今度は報告会をいつするというて委員を出して班長出て決まっとるこっちゃけえ、それに最初から年1回にしましょうというて言うとなんじゃったら。僕は前回のときも言うとする。

前々回も、選挙があるから1回にしてくれという話で、次はふやしましょうというてここでも言うたん、ほんならそれはよろしい、決めとんじゃからという話をしてきたん。それが、この間は言うたときには30年度の話で29年度に言うけえ、ちょっとまだ早えんじゃねんか、もう一遍会議して言うてくれえという話で、ほんならそうしますというてやまったが。ほな今度ははやもう、その前のときのしたのを通して1回でいきますんじゃというて、それから10月、11月がええ言ようるけど、僕はじゃから、10月、11月したらもう次ができんようなるんじゃ、1回しか。7月とか早ええ時期、8月にしときゃあ、もう一遍できやしいし、昼にでもすりゃあ、今度は出やすうなるわけ。それは個々に用事があるのは別として、それから地元へ行ける場合もあるし、フリーでどこでも行ってくれという場合もええし、それから10月、11月言うけど、吉井の場合、10月、11月というたらもう、山陽もそうか、農家は絶対来りゃあへんのじゃ、年寄りのへんこつで同じことばあ言いに来る者しか、そんなことじゃあおえんとは言わんけど、じゃからして意味がねえこともあるからもうちょっと考えてほしい、既成事実でやったんじゃということだけじゃのうて、これがもう班長会で決めたこっちゃけ決定で、班長会も今何か聞きようりゃあ、まだ決まっとらんというて、考えがというて言う。じゃけそこの、今言ようる案じゃったら、もっと考えてもらわなんだらおえんじゃねえか。もうどうしてもおえんのじゃと、決めにゃあおえんというんじゃったらいまし方ねんじゃけど、どうこう言うんじゃねえけど、やっぱりそれをしてもらいてえなあと思うて。じゃけど、これ基本的な考え方は……。

しゃべってもええ、しゃべってもええんかという、まだ。

○委員長（下山哲司君） どうぞ、北川委員。

○委員（北川勝義君） というのは、そうせなんだら何のために規則を決めて、年1回しますとか、1回以上というんじゃったらまだええんじゃけど、2回ぐれえするというて決まって、今度はたまたま去年、おとしなんかは選挙があるから1回にさせてもらおうというてやったんじゃ、そりゃ下山さん、覚えとるわ。福木さんじゃったかな、前回のとき座長は、下山さんじゃったかな。選挙があるけえ1回にしましょうということでしたのに、ことしは選挙ありゃあへんがな、おめえ。選挙するんか、また。ちょっと教えてくれえ。

○委員（原田素代君） 委員長、いいですか。

○委員長（下山哲司君） ちょっと待ってください。

赤磐市議会報告会実施要綱ということで、報告会は中学校区単位（以下地域という）で開催し、地域ごとに年1回とするという……。

○委員（原田素代君） そうじゃない。

○委員（北川勝義君） 違うっちゃ、ちょっと下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） もう何遍も同じこと。僕ずうっと赤磐市になってから議員させてもらうて会議も出て、ほとんど議運も出とる。その中で、何やかんやの中でしたら、おとしは2

回せにゃあおえんのじゃけど、選挙があるから1回にさせてくれえと。それまでに1回ではおえんから2回しましょうやという話が出とったわけ。じゃあけど2回は待ちましょうというて、そんな話を見よんじゃねん。もう下山さんええっちゃ、そういな話は。もうええっちゃ。

○委員長（下山哲司君） 話はあったけど、決定しとるのはこういうことで決定しとる。

○委員（北川勝義君） これは違うがな。25年につくったときのこうじゃって、25年につくったけ、26年とかしていきょうるときには年1回じゃあおえんから2回にしましょうというて意見が、こけえおった者のほかの者の皆、意見聞いて、年2回しようというて意見が出とって、2回はできなんだりで、次からやりましょう、毎年次からやりましょうということをやって、選挙の年じゃったから1回にしましょう、今回はというてやったんじゃもん。僕覚えとんじゃもん。記憶力は僕一番ええんじゃもん、あんたらに比べて、もうごちゃごちゃ言うたらいけん、おめえ。

○委員長（下山哲司君） ちょっと報告させてください。

はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） もうちょっと時間的余裕があるんじゃないかなあと思ったりしますので、もうここは1回戻していただいて、それで班長会議なら班長会議でしっかりと詳細詰めていただいて、ある程度決まったものをこちらのほうで出していただいて進めていただいたほうがいいんじゃないかというふうに今思ったりしてるんですが。

○委員長（下山哲司君） ちょっと報告させてください。

第8回議会報告会、班長会議において、協議事項の中の2番目で、次回の報告会についてということで、前回の振り返りで出た意見は議運に報告して、その意見をもとに次回の議会報告会の内容を検討することを承認してもらおうと、開催時期については班長会議で案として11月ごろに6会場で実施を議運に報告し、開催会場を6会場に変更する場合は実施要綱の改正が必要になるので早目に検討し、決定が必要でと。その他についてです。3人1班の6班にふやし回数を減らしてはどうかというような意見もありましたが、参加者が多い会場で体調不良等で欠席者が出た場合は対応が難しいのではないかなというような中で、次回は回数をふやすことよりも、集客方法を見直して多くの人に参加してもらうようにすべきではないかということで決定しております、第8回に。

○委員（原田素代君） 日付を教えてください。

○委員長（下山哲司君） 12月18日。

○委員（原田素代君） 出席していたんですね。

○委員長（下山哲司君） はい。出席者永徳議員、大森議員、佐藤議員、大口議員、治徳議員、原田議員、下山。

○委員（北川勝義君） ちょっと、下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） もうこれ以上言わんから、今、佐々木副議長が言われた話じゃねんじゃけど、何か急いで何でもしょうて、ええことを急いでするんじゃったらえんじゃけど、もう後進しようるような、バックしようるような話ばあせずに、こけえ見て、こけえ1回と書いとるがというて、そねえな1回以上する、言い方は悪い。それが、下山さん、頭悪い、忘れとる。26年やこうしたときに、やりようるときには1回じゃった。とりあえず1回にしてみようやというてやって、それでまたもっと、来るんも少ねえけえ、数もふやそうじゃねえかといういろある、次は2回にしようやというてしたら2回できなんで、29年のときは、せにやあおえん言ようたんじゃけどもう29年遅うなって、1回にさせてもらおうや、選挙があるからというて、29年。そのかわりそのときの書いとる、ここの議事録を持ってきてみい、議運の。次は2回ぐれえやりましようというて言うて、そういう話で終わったがな、おめえそりゃあ。勝手な。それを班長に任しとるけえもうこれ以上言わんけど、班長に任しとるからえんじゃけど、やっぱりちょっと考えてくれてやらなんたら……。

○委員長（下山哲司君） ちょっと1つ聞いてください。

前回やった内容は前々回と内容を変えてやりました。原田委員とかいろいろ御意見があつて。

○委員（北川勝義君） そりゃあもうええ言よんじゃ。

○委員長（下山哲司君） そのやり方が、今回、来ていただける人が少なくて結果が出なかったんで、次回は、ここにもありますように、参加者が多い会場ということで、次回は回数をふやすことよりも、集客方法を見直して多くの人に参加して……。

○委員（北川勝義君） いやもう、下山さん、そんな話は……。

○委員長（下山哲司君） 班長会で決まっとんでということ。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、下山さん。じゃったらな、日程だけするけえ、班長会で決まっとんのに口を出すなというてやられえ、それじゃったら。

○委員長（下山哲司君） いやいや。

○委員（北川勝義君） そうじゃねえがな。班長会も、この間も、ほんなら班長会、議運のときでも4月にならんときにおめえ、前年度のときに勝手に出してやったろう、治徳さん。出したが。それはまだおかしいじゃねえかというて話になったがん、時期尚早。それを、今度やりよんのに、直すことは直しゃあええが、おえずに日にち決定するんじゃ決めりゃあええがな、あんたらが。10月でもいつでも、6月でも気の向いたようにしてみりゃあええがな。

○委員長（下山哲司君） ですから、前々回とは内容は……。

○委員（北川勝義君） 行かんよ、わしゃあもう、そういなこと言うんじゃったら。出ません。

○委員長（下山哲司君） それはもう、どう言われても班長会で決定したこと……。

○委員（北川勝義君） 班長会は我々が選んどるから文句言よんじゃねえけど、もっと考えて

くれえ、それまでの議運のときの話をしとんのが、話が生かされてねえがなという話をしょんじゃがな。

○委員（原田素代君）　そうです、そうです。はい、そう思います。

○委員（北川勝義君）　話を生かしていかれ、ちいたあ。何でも勝手に……。

○委員長（下山哲司君）　あんたが一番悪いんよ、そねんこと言うたら問題が、原点になるんじゃから。

○委員（原田素代君）　誰が悪いとかどうでもいいけど、北川さんが言うのは当然です。

○議長（金谷文則君）　今は正式な会議をしてますので、考えて。

○委員長（下山哲司君）　もう班長会でそういうことで決まっりますので、今回は……。

○委員（原田素代君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　はい、原田委員。

○委員（原田素代君）　ここで諮るんでしょう、その報告を。

○委員長（下山哲司君）　ここで諮るのは先ほども言うたように、班長会で10月中旬から11月中旬ごろの開催についてということが案ができとりますので、日程について御協議をお願いしますというだけの……。

○委員（原田素代君）　だから、それは突き返しましょうという意見が多数なんです。もう一度やり直せばいいじゃないですか。

○委員長（下山哲司君）　あんた、自分がこの中に、メンバーにおいて決まったことに……。

○委員（北川勝義君）　下山さん。

○委員長（下山哲司君）　はい、北川委員、どうぞ。

○委員（北川勝義君）　さっきも言うたん、10月、11月というのは山陽の辺とか非農家の方が10月、11月はええ。僕はもう事実、聞いとんのがそれも聞いて、じゃけど福木さんの話も出たし、下山さんの話も出てバスの通学対策をしてくれるのはええんじゃ、金は少ねえけどなという話からやりようて、昼にしてくれりゃあ、休みとか行きゃあ、子供があれのときには昼じゃったら会議に出れるんじゃという話も奥さんがしょうったわけじゃ、父兄が。じゃけど、結果的に言うたら夜ばあしてできんし、せえで10月、11月というたら吉井でいうたら稲刈りやりようときに皆やりようて、誰も、ちょっと会議へ行ってくるけえなというて来れん。よっぽど暇な者でへ講釈言う者が来るだけで、不可能なんじゃ。時期を考えてくれにゃあいけんわ。

○委員長（下山哲司君）　それは、とりあえずそういう御意見も尊重しますが……。

○委員（北川勝義君）　御意見言うてもおえんが。

○委員長（下山哲司君）　一応8回の議会報告会班長会議で決まっらんとで……。

○委員（北川勝義君）　違うが、今言うたがな。班長会議で決まったから日程はいつするんですか、議運というのは日程を審議するところなんじゃけ、日程を、じゃけだめじゃと言うたら変えにゃあおえんがな。そうなるがな。

○委員長（下山哲司君） 日程は、じゃから……。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員（北川勝義君） 日程は今調整しょんじゃ、日程はあんたが調整する……。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） いろんな意見が出とる中で、どうも班長会でもちょっと一応報告があったんじゃけど、まだまだいろいろ意見があるし、議運に諮って、意見があればまた班長会に戻して決めるというふうになれとんで。

○委員長（下山哲司君） ならんて、もう。班長会で決まったものを班長会がやったことが気に入らんというて、そんなことが通るようになつとらん、議会は。

○委員（原田素代君） 議運に諮るんでしょう。

○委員長（下山哲司君） 班長会、何になるんなら、班長会、ほんなら。そんな話はありません。

○副委員長（福木京子君） そうしたら、その前行われた班長会というのは、その前に議運の意見を聞いたことを反映して決めたということですか。

○委員長（下山哲司君） 何を言よんかな。あんた何年議会やりよんなら。そんなことで議会のルールやこのうなってしまうあ、そねんこと言よつたら。皆さんが選んだ班長会をして、班長会で決まったことが、それが違うじゃというような話になるんじやつたら、そんなものは必要のうなる。

○委員（佐々木雄司君） 委員長、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ちょっと休憩とりませんか。

○委員長（下山哲司君） それでは、暫時休憩します。

午前10時31分 休憩

午前10時37分 再開

○委員長（下山哲司君） それでは、再開します。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 議運じゃから日程調整するんで、原則は班長会議に任しとくのは、これはもう変わりはねえ、今言う。それから、その前も言うた、議長も言われたり、佐々木副議長も言われて、僕は10月、11月というたらやっぱ皆さんの声をよく聞くとか子育てしょうる方の意見を聞くというときには一番不条理なときなんで、農繁期で一番忙しいときです。それで、できたら年2回以上やってもらやあええと思う。もうそれは無理じゃつたら無理でもえんじゃけど、僕は出れんというたら出んかもしれません。はっきり言うて極力出ようと思いますけど、それから言うのは日程が悪いんで、10月、11月予定が悪いというて僕は今思よん。その

ことがありゃあ、一遍議会の班長会議へ差し戻して、副議長の言うた話じゃねえけどしてもらやあ、班長会議を差し戻しても、いや10月、11月じゃねえとだめじゃというたら、これいたし方ねえ、聞きますけえ、そのときも大体日にちもこのけえがええと、例えば10月、11月というたらバランスが悪いんじゃ、10月20日じゃとか25日とか、例えばぼんと決めて出してもろうた、1回の場合よ、言よんのは。2回になる場合も知れんし、もしならなんたら今回のを踏まえて、来年度からは2回にしましょうとかという、これいつもそう言うてきとんじゃ。そう言うてきて、選挙の前でしとるから、それが意見なんで、ぜひ差し戻してやってみてください。まだこれが10月の話じゃから。来月するんじゃったらもう今決めとかにゃあ再来月、6月議会で決めにゃならんけども、先の話じゃけん、えんじゃねんと思うたんじゃ。もうそれが無理じゃったらえんですけど、皆さんが、全員が10月、11月がええというんじゃったら、皆おったからというて、僕以外の人がおったけんええというんじゃったらやってください。僕は今そう思うたんで。

○委員長（下山哲司君） 御理解いただきたいのは、第8回の議会報告会班長会議において一応こういうことに、先ほど報告させてもろうたようになっておりますので、今回じゃなしに、次回はメンバーも2年ですからかわりますから、また留任になるかもしれませんが、今回は決まっておりますのでこういうことで御理解をいただいて、10月の中旬、初めがだめなら中旬の一番後のほう、10月の中ごろに決定をいただければと思いますので御協議ください。

○委員（北川勝義君） じゃあねえ。ちょっと下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） もう言わんけど、あんた理解悪い。委員会でもこれ、反対じゃと言うたら、市長が、いや反対でもええと。きのういろいろ書類見ようたんじゃ。5回産業建設委員会が流れたというて。行本さんが産業委員長やったときに、流れたというて言うた。井上さんが審議未了で結構ですからというて言うたのを新聞に出とって、ずっと読みようたん。古いのを焼きようて。それと同じで、簡単な、これ審議未了、下山さんが、いやわしはやるんじゃ、そりゃむちゃくちゃじゃ、下山さん考えてください。日にちが悪いんじゃけえ、もう一遍考えてからして、またこれが来月するんじゃったら不可能なけど、いやそれはだめじゃと、いや、決めたんじゃけやるというた、ほんならこれから市長らが上げてきたことは、もう文句言わずにやりましょうというてしてあげにゃあおえんで、皆、なあ。そう思うた、僕。意見も取り合ってくれん、意見言うだけでガス抜きで意見言うて、あとは放っとけというんで。この間の、僕ら百条委員会というたら関係ねえことでぼつけえやられて、全然関係ねえことをやられたりするのに、そりゃおかしいで、下山さん、よう考えてください。今ここで皆さんの意見聞こう。皆さん、ちょっと、下山さん、皆さんの意見聞いてん。皆さんの意見聞いて、どうしてもそれは10月、11月、今の原案がええんじゃったら日にちを決めるとか、それかもう一遍検討、班長会議へ戻してええかだけ聞いてみてん、それで僕1人だとか2人じゃったら我慢しますけ

ん。

○委員長（下山哲司君） ちょっと言わせていただきます。

私も班長会の班長をしたくないんじゃないけど、やれやれということでやらせていただいたんですけど、議運の委員長をやらせていただいとすることで、皆さんにお任せされて班長会を開いておいて、それで班長会で決定したことが気に入らんとと言われるんでしたら、私はもう班長会の班長もおりますし、もう議運の委員長もおります。そうせんと、会議を開くあれがないじゃないですか。ほんなら前に時間をかけて開いておいて決定したことが、それが気に入らんのじゃから差し戻せというような、と言われるんでしたら、私はおりさせていただきますから協議してください、しっかり。

はい、原田委員。

○委員（原田素代君） あくまで原則的なやり方を考えていただいたらいいと思います。北川委員のほうからそういう提案があった。それについてここでほかの方からも意見を聞いて10、11月の1回ということについてはもう一度考え直していただきたいということになった場合はもう一度班長会を開いていただければいいんだと思います。ですから、ここで皆さんの意向を聞いていただければありがたいなと思います。いかがですか。

○委員長（下山哲司君） 申し上げますけど、班長会に出られとった方でこの議事録がだめじゃと言われる方でしたら、私は班長会の班長をおりますから、そう言うてください、はっきり。

○委員（原田素代君） はい。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） どうぞ。

○委員（佐藤 武君） いいですか。まず、委員長が班長会議の座長として大変苦勞して取りまとめられておるということは、まず皆さん御理解をいただきたいということの中で、まず全員協議会ですか、あの中で議会報告会をするに当たって班長それから副班長を選ぶに当たって、皆さんは班長、副班長に全面的に委任しますよと言われたと思うんです。

○委員（北川勝義君） どの会議もじゃねえか、皆組合行ったら任しとるじゃねえか、何を言よんなら。

○委員（佐藤 武君） それだったら、全面的にお任せするということを行ったんだから、それはある程度のお任せはしていただかないといけないというふうに私は考えますけれども。それから、議会報告会についても参加した議員さん全員から反省文もいただくということの中で、ほとんどの方は多分出てなかったんじゃないかなというふうに思います。それから、昨年も11月に開催をしておりますし、班長会議の中で日程等も含めて十分な協議が行われて座長が取りまとめたということもありますので、座長の御苦勞も含めて、私は今の決定でいかしてい

ただかないと、改めて差し戻しということになると、班長会議というのは何だったのかなということと思うところです。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） それじゃったら、自分の行動してからやれえや。それから今、組合議会の流れを全体を。それからもう1個は、報告ですよと言え。報告で日程をこうするんですよと言え。報告じゃったらいたし方ねえ、質問はしても。わかりましたじゃ。報告じゃない、日程を調整してください、日程というて言うたら、日程が悪いからと言うんじゃ、当たり前の話じゃねえか、日程が悪いという。そんなことがわからんの、笑われるで。ただもう、じゃから、班長会議をしてねえとか尊厳しとる班長会議、言ようりゃへんが、そういう話は。それまでの班長会議の意見を言うたときのこうやってくれという意見はもたらされとらんということと言よんじゃがな。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） だから、日程の時期の御指摘はありましたけれども、1回にするか2回にするかも含めて班長会議で決めたわけですね。

○委員（北川勝義君） 違う。ちょっと腰折るけん、ちょっと腰折らして。

それを言うたら切りがのうなってくるんじゃ。皆2回やらにゃあおえんというて来とったんじゃ。あんた議員じゃねえときじゃ。あんたが小田百合子を責めようたときじゃ。やったんじゃ。2回やらにゃあおえんというてやったときに、今度はやりましょう言うたってできなんだわけ。議会が今度は選挙じゃけん1回でしましようというて終わって、次は考えましようというて、そのときあなた議員でもねえ、委員でもねえからわからんはずじゃ。やっとなんじゃ、それも。そこまでやってきとるから言よんじゃ。流れがあるから言よんじゃがな。

○委員長（下山哲司君） はい、佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） だから、私は前の分は確かに知らないですけども、だから今回班長、副班長を選任して班長会議の中で回数も含めて時期等についても協議をして決定するということで決定をしたわけですから、あらかじめ案ということで今座長、委員長がお示しをしたわけですから、その方向でやっていただかないと、改めてまた差し戻しということには私はならないと思っております。

○委員（北川勝義君） 違うわ、何遍もおめえ、日程のことを言よんじゃがな、何を言よんなら。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） だから、再三、佐々木さんも、福木さんも、北川さんもおっしゃっているように、日程調整上もう一度検討をしてほしいという意向でそちらで引き受けていただけ

ればいいなあと思いますけど。諮る以上は、諮った結果を重んじてください。

○委員（北川勝義君） 下山さんな、下山さんもわかつとるはずじゃ、意地になって言わりようけん、僕も意地になって。佐藤武委員が言われたから。班長会議やこうばかにしとらへん。尊厳してお任せすると言ようる、決まったことは。じゃから言ようる。組合議会でも選出された議員がしたことや決まったことを尊厳しましょう、尊厳してねえ、赤磐市はしてねえけど、せにゃあいけんということ言うてきとるわけ、僕は。それから、これも言うた。ただ日程調整じゃから、皆さんの意見で。山陽の人は10月でも、11月でも、ネオポリス来る人はええ、百姓しょうらん人は。吉井で百姓しょうる者は、ほんなら5時になって着がえて6時になって行きましようというて、そんな人はおらんよ、誰ひとりも。みんな乾燥、もみを、失敗したら困るけえ、6時でも7時でもやりようらあや。下山さんらがライスセンター悪い、悪い責めようる、そねんこと、みんな来てみんなしょうる。あしたが特に雨じゃとかというたら、どうしても遅うでもして持ってこにゃあおえんというてしょうんじゃ。それを1年の労をしょうるときに、そのときに父兄も来られんとかというときばあにしちゃらんでも、あんたら何でもかんでも山陽方式、ネオポリス方式やるんか、何でも3分の1でネオポリスおるけん、ネオポリスがえんじゃというてやるんかな。じゃったらそれでやりんせえ、これから、皆。約束を破らなんで、決めてきたことを前へ前進、もうこれはきょう決まったからどうこう言やあへん、したからすりゃあええ。やらにゃあおえんけど、前へ改革してええことをしていこうというのに、森友学園と同じじゃがな。関係ねえ、それは決まっ тоннじゃ、し тоннじゃ、ええんじゃ、ああじゃというて、それはおかしいがな、おめえ。僕はもう納得いかんけえ、もう悪いけど僕の名前削除しとってください。せえで、皆さん来たら北川はこういうて意見が、きょうのことよ、きょうのことで、下山座長とそれから佐藤武さんと意見が合わなんで、間違うとるというて言われた、僕はそれで出ませんからと言うてくれえ、みんなの前で、構わんから。

以上、終わり。

○委員長（下山哲司君） それでは、先ほどからお願いしております10月中旬から11月中旬ごろの開催についての日程を御協議お願いいたします。

○委員（北川勝義君） 反対じゃというて今言うたがな。

ほんなら言うとかあ、はい。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 時期が悪いんで、もう一遍考えていただきたい。

以上、終わり。

○委員長（下山哲司君） そういうお話をお願いしておりません。10月中旬ごろから11月中旬ごろの開催についての内容の中身で日程を決定していただくをお願いを……。

粛々と進めるので、そういうことでよろしく。

○委員（北川勝義君） 日にちやこう今決めるようになってねえが。案を2つほど出していつ

いつにするからというて出して、これでどうしましょうか、ほんなら議会もこれから全員、議運じゃから議運ももう一遍、議会をいつからやるというのを決めえ。

○委員長（下山哲司君）　ちょっと日程。

○委員（北川勝義君）　議会をいつからやるか決めてみい。

○議会事務局長（奥田吉男君）　開催時期なので日にちの設定はちょっと無理です。

○委員長（下山哲司君）　この内容でええということじゃな。

○委員（北川勝義君）　ちょっと下山さん、下山さん。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○委員（北川勝義君）　ほんならな、ここで6月議会の決めたで、予定を。やられたが、案を。6月議会やこわからへん、ここでおえんじゃと言うたらどうするんなら。それはいけまあがな。こういう日にちを設定して、これでよろしいかというて皆さんに聞いてもらよんじゃから、原則。日にちがわからんのをいつ決めえやこできるわけなからうがな。

○委員長（下山哲司君）　前にも言わせていただいたんですが5、6月の案を出せというのは皆さんの御意見で、できるだけ早う案を出せということで、以前は1カ月ほど前にしか示してなかったんですが、最近は3カ月も前にこうやって示させていただきよんで、それが個人的に日程がよくないというような話にはならんので。

○委員（北川勝義君）　違うがな。じゃあから、こういう日程を示したらこれに皆合わせてしょうるから。じゃけど今言よんのは、10月か11月かいつの、10月5日じゃと、例えば。それから、11月3日じゃとかというて出さにゃあおえんが。出さんのにどっちにせえというてわからまあが。60日の中に決めえというて、めいめいばらばら、執行部が提案して案を出してそれにするんじゃがな。

○委員長（下山哲司君）　それでは、諮らせていただきます。

10月中旬から11月中旬ごろということで、開催について、この議運で決定ということでよろしいでしょうか、お諮りします。

○委員（北川勝義君）　反対します。

○委員長（下山哲司君）　いやいやじゃから、班長会で決まっとんで、10月中旬ごろから11月中旬ごろでやるということでよろしいですかというお諮りをしょん。賛成の人は手を挙げてください、これから。

○委員（北川勝義君）　そりゃ採決じゃがな。

○議長（金谷文則君）　ちょっと委員長、ちょっと時間、休憩してもらって。

○委員長（下山哲司君）　休憩します。

午前10時51分　休憩

午前11時3分　再開

○委員長（下山哲司君）　それでは、再開します。

ただいまは、私の説明の仕方が悪かったんかもしれませんが、班長会において10月中旬から11月中旬ごろの開催についてということで決まっておりますので、この議運でそれでいいということであれば、それで準備をさせていただきたいと思いますので、10月中旬から11月中旬でいいと思われる方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（下山哲司君） 挙手多数なので、そういうことで決定とさせていただきます。

いろいろありましたが、委員としては一応会で決まったことは粛々と進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、協議事項4番目、その他について。

委員さんまたは執行部から何かありましたらお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） 報告というか提案で、こういうふうにしたいということのをお願いをしたいと思います。

10月まで各常任委員長さんとそれから議長、副議長と議運の委員長、副委員長ということで意見交換会のようなものをさせていただいておまして、1年たってもうあと1年私の任期もありますので、今度は一応、常任委員会の委員長さん、それから議運の委員長さん、それから議長、副議長の中で、それぞれいろんな意見の交換と、それから情報共有というものをして、議会としてひとつまとまっていきたいというふうに考えております。そういうような形で、また私のほうから、開催する時期につきましては御連絡を差し上げて、皆さんのほうにお集まりいただきたいというふうなことをやっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。それで、そのことにつきましてはまた全協のほうにも報告させていただきたいというふうに思います。

というのが、一つ例をとりますと、例えば自動運転の問題だとか学校給食の問題だとかってということを見ると、産建のことといい、それから例えば総務と一緒に問題が出てくることがあったり、それから厚生の方へ問題に係ることがあったりするので、それぞれの委員長さんの御意見なりお考えをちょっと聞いとる中で物を進めていければ、変な錯誤がなく前へ進むんかなというようなことがありますので、ぜひこういう機会を持っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。

○委員（原田素代君） 質問。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） どのぐらいの頻度を想定されてるんですか。要するに、招集かかって調整がつかないこともありますので。

○議長（金谷文則君） その辺はいろいろ考慮をしながら、議会の日程とかそれぞれの皆さん

のスケジュールだとかということがありますので、できたら月に1遍ぐらい開催させていただければなあというふうには考えておりますが、また御連絡させていただきたいと思います。

○委員（原田素代君） 承知しました。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

他にございませんか。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、1つ御協議いただきたい案件でございます。

定例会の予定の公表についてということで、ホームページのほうへの予定の掲載をということで御提案をさせていただきたいと思います。

今までの議会スケジュールにつきましては、議会招集日の1週間前の議運、全協において決定した後にホームページのほうに議会予定を掲載しておりました。最近、市民の方から議会の開催について、日程についてのお問い合わせがございます。案としましては、定例会のスケジュール（案）という形で、開催日の1カ月前にホームページに掲載をというふうに考えております。

なお、ホームページ掲載に当たっては、この内容については最終的には議運の決定、1週間前の議運で決定する内容なので、変更の可能性がありますということの旨をつけた掲載というふうに考えております。御協議をさせていただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） ただいま局長のほうからお話がありました。

御意見をいただけたら。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） それはいけん。簡単に事務局が言うな、おめえ。誰かが何か聞きてえから、言うてきたらそれに合わせて早うしちやる。今言うた最低限のことで、議運をしてから議運で承認されて初めて出るんじゃけえ。今言うたことは、議運もくそもありゃへん。やってみて、予定じゃから議運でこんななった。これは予定です。議運の終了後は効力を発揮しますというと同じ、それはいけるもんか。これは、何でも簡単に、言うてきた者があるから、それじゃったら議会も、これから局長、提案せえ。議会も吉井、赤坂、熊山、山陽というて分けてやれえというて。そんなことできんというて言ようるが、できるけどな。やりようらんじゃねえか。じゃったらもうちょっと、何でもかんでもここでやって、山陽方式何でもというわけにはいかんよ、そりゃあ。試験的に、書き方として、今局長の言うたの、大分まともなことを言ようる。次回はこの時期になりますとかというのを告知を出しちやるのはええかもしれん。じゃけえ、議会運営委員会で何月の議会、例えばわかるが、月末に議会運営委員会とかで決定して、また正規に出しますという、予備公告みてえなんじゃったらええ。それ今みたいなを出して、今度はそうじゃというのはいけん。同じことかもしれんので。

○委員長（下山哲司君） 予備公告で。

○委員（北川勝義君） 予備公告じゃけどおえんよ、そりゃあ。予備公告で当たり前、議運は決まらん。似たようなことを言よんじゃけど、僕の言よんのはもっと書き方、議会の予定ですと。これは議会の運営委員会だというのはええ、これは今の公告というて、前もってお知らせするということなだけじゃなかったら、全部を出したらいけんということを言ようるわけ。今言うた、1カ月前に出しちゃうとかというそういうこっちゃんのうて、今じゃったら今時分にやるんじゃったら、今時分に出すんじゃったら6月議会はこのときにはこういう予定ですよというて、会期はこうですよというぐれえを出しちゃうのはええと思う。それ以上のことを、1カ月前に出す言うたがな。

○委員長（下山哲司君） 局長、もう少しわかりやすく説明してください。

○議会事務局長（奥田吉男君） 北川委員さんが言われる内容につきましては、会期をほんなら、今回で定例会6月で申し上げますと、6月8日から始まって月末の辺までありますよというような告知であればオーケーという内容でしょうか。

○委員（北川勝義君） その告知でもええんじゃけど、中にとというのはええ。告知というのは、議会の予定ですよというて、その中に本会議、各常任委員会でも例えば入れてもええということ言ようるわけじゃ。それを、議運が決定したら、当たり前じゃ。我々より先に、例えばの話をしたら、議員より議運でメンバーの議員より先に知ることになるんじゃ、決定が、予定が。それじゃいけんということを言ようるわけ、僕が言うのは。

委員会を今しようるこのけえを簡単に。予備日やこう要らんのんや。例えばというたら6月8日に議会本会議って、6月12、13本会議とって、それから厚生やこうというたら例えば総務に決まったら、6月20日、委員会、総務委員会という、これだけぐれえじゃったらええというんじゃ。後がわかりゃあ、一般質問ほんならそんなことを言よって、一般質問しますというて書いてしとろう、本会議で。6月12、13としとるが。18人出てきたらどうするんなあというて、予備日のときになってこうがなという話をしょんじゃがな。予定じゃねえからえんじゃというのじゃのうて。

せえから、インターネットの時代になったけえインターネットを見ようらん、ねえ者はどうするんなら。ねえ者に不公平が生じるんじゃねえんか。それから、何でもかんでも山陽、山陽、山陽でやり方はおかしいんじゃねんか。極端な話をしょんで。そのけえぐらいな、簡単なんするのはええ言よんじゃ。詳しゅう予備日だとか休憩を入れたり何やかんや入れようが、そねえしたら、議運でしたというんじゃのうても、簡単にそのけえぐれえまでじゃったら、予定ですよというだけで、今言うた議運で、議運で決まるのはわかり切っとることじゃけ、それを入れるかどうかわからん。それしてしたら、ほかの議員さんにも早う出したらにゃおえんのんで。インターネット出る前に出したらにゃあ、議員には。議員のほうが後から行ったといやあ、もってのほかじゃけえ。

○委員長（下山哲司君） まあ、これが出たの話じゃけえな。

○委員（北川勝義君） じゃけど、今じゃったら、今じゃったら5月じゃったら、もう出さにゃあおえんのじゃろう。例えば例で、今じゃたらいつごろ出すん。

○議会事務局長（奥田吉男君） 今、例で申し上げますと、5月8日、6月の予定を5月8日。

○委員（北川勝義君） 5月8日になったら、約1カ月先じゃわな、1カ月先になるな。これのときに、この6月のこれはいつ行くんな、議員には。

○議会事務局長（奥田吉男君） 議員さんにはきょうスタートで、きょう通知行きます。

○委員（北川勝義君） これは議員に行くんじゃな。ほんならええ、それじゃったら。僕が心配なのは、後になってという話を今思うたんじゃ。注意書きだけ、委員長、僕はもうそれじゃったら賛成。委員長、注意書きだけをぴちっと書いて。簡単に。余り詳しく、一般質問で。

○委員長（下山哲司君） この項目ぐらいしか出ませんので。

○委員（北川勝義君） それだけで、あと後ろやこ書かんように。それで、あとと言うのが、議運のことを上手に言うんじゃねえけど、ぴちっと議運で。それだけきちっと書いてこうや。

○委員長（下山哲司君） それから、以前にちょっと問題があったのが。

○委員（北川勝義君） それから、もう1個。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 傍聴、委員会にしても本会議にしても、傍聴に来た人が個人、プライバシーの保護かどうか知らん、名前を隠して教えんということにしてあろう。これはおかしいんじゃ。はっきり言うて。傍聴に来るんじゃったら。私はどうしても匿名にしてくれえという者はええ、普通じゃったら、来てから聞いちゃったんじゃ。構やあへん、私はというてきて。いっつも来ようるもんと言うけえ、そりゃまあそうじゃなと思うて。そういう人もおるけえ。書くのは書いても公表せえというんじゃないんで。今何かなっとんじゃろ、見せちゃおえんというようなプライバシーか何か。

○議会事務局長（奥田吉男君） 書かれる内容が本名じゃない。身分証まで確認しないんで。

○委員（北川勝義君） じゃけん、書いてもろうときゃあえんじゃねんかなと。見られても構やあへんという人も多いし。何でこういうことになったんかなあと思うて。じゃけん、圧力がかかるということか。

○議会事務局長（奥田吉男君） いや、個人情報なので、誰が来たかという内容を突きとめるのは。

○委員（北川勝義君） じゃあけど、ほんならそこまでやるんじゃったら、個人情報というんじゃったら、これから免許証でも、せえから今のカードでも持ってこいというて。確認できんが、誰か。

○議会事務局長（奥田吉男君） だから、確認する必要がない。

○委員（北川勝義君） 必要がないんじゃないら公表しても構やへんがな。公表せんけど。本人じゃねえかもしれんがな。わしが来てから、例えば和気町行って、下山哲司というて書いて、うそを言うな、違うがなというて皆言わあや。福木京子というて書いて、おめえおかしかろうがというて絶対言わあな。おめえ男じゃろうがというて言われる。確認せにゃあおえんのじゃねんか、そりゃあ、僕はそう思うけどなあ。そんな保護ばあの関係か。

○委員長（下山哲司君） そうじゃ、一方的に。

○委員（北川勝義君） おかしいなあ。

○委員長（下山哲司君） はい、佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） ちょっと教えてください。

いわゆる委員会傍聴で来られました、傍聴の方が。住所、氏名、年齢はわかりませんが書きます。傍聴許可。それで、それは私の認識としては正副委員長に確認をしていただいて、こういう方が来てますよということで傍聴の許可を初めてするんじゃないかなと思うんですが、それはもう、傍聴許可証というのは、もう一切見せないんですか。

○委員長（下山哲司君） はい、局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 実際には委員会条例の中で、傍聴に当たっては委員長の許可を必要とするということを書いてありますが、本会議場でも名前を書いていたものについて、個人情報ということで、他の方には見せないという形にさせていただいてはおります。実際には、委員会で正式に委員長の許可という形での傍聴の許可は出しておりません、実態として。

○委員（佐藤 武君） それは、何が根拠規定になるんですか。個人情報という部分で開示しないというかお知らせしないというのは何が根拠規定となるんですか。

○委員（北川勝義君） ちょっ、ちょっとええかな。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 皆大きい勘違いしとるな。傍聴来ようる人は関心があるけえ来よんじゃ。傍聴来とる人は圧力団体なんじゃ、ある意味。傍聴へ来て、この間、そうだ、ええどと言うから拍手しょんのも圧力団体です。ここへ来ておるのも圧力団体。議員は別よ。じゃから。笑ようるけど本当の話。じゃから、そういうことのやっぱりやるときには、僕は大体いつも来ようる者は、これは学校給食センターのことで来たなとこういうてわかりようるけええんじやけど、何で来たというのがあるが、そう言よんのが。じゃけえそこらも何ぼかなかつたらいけんのんじゃねえかと思よん。

今佐藤さんが言ようる、何の規定なあというて、規定はあるが、運用で簡単にしとんかもしれんけど、わからんけど。僕ら来たらここへ5人、例えば百条委員会のときにようけえ……、来てもふえたら入れちゃってくれえと、僕ら委員会へ来ても、この間福木さんには大変申しわ

けねえ、こっち変わってもろうたわな。議員、こっちに動いてくれと。ここへいっぱい座らせてあげるが。座らせてあげるというたらおかしいけど、少々ふえてもええというたら言い方悪いけど少々のは関心を持って開かれた議会じゃとか委員会じゃというつもりでやらせてもらよんじゃけど、逆に、そこからいうたら、傍聴者が本当のことを言うて、傍聴のことは議長、今ごろやらんけど傍聴のことやりようたろう。傍聴者が来ておりますとかやりようたんじゃ。今ごろせんわな、そういなことは言わんけど、本来、名前まで言わんでもええけど、何人というて、名簿も見んでもええんで、僕ら見んでもええけど、やっぱり何かの菌どめというんか何かなかったら、守られる者ばあ、せえでまた聞きようりゃあ、名前は何でもええんじゃというて言われた。ちょっとそれ、名前何でもええのは、別に知りたがり病じゃねんじゃけど、ちょっと片手落ちのような気がして。それで、議員さんには動員かけてようけ来ようる者もおったり逆もおったりするんじゃけど、それだけ関心があるんじゃけえ、ええんじゃねえかと思よんじゃけど、そのときには、来られる方はもうその関心で来よんじゃけん、名前書かれりゃええんかなと思うて、公表されてもええんかなとちょっと思よんじゃけど。何か根拠があって、今佐藤さんが言うた、これ根拠で出さんでもええと言うが、申し合わせになっとんじゃったらそれでええんじゃけど。

前はあそこへ書いとったが、見よって、今度は急にそねえなつたろう、ちょっとそれ、どんなかな。何か来られた人も問題ありや、圧力をかけに来よんじゃねんじゃけど、僕からいうたら圧力かけに来ようるように見えるんで。

○議長（金谷文則君） 以前にちょっと、議員のほうから傍聴来とる人の名簿を出せというようなお話があつて、それはできませんということでやった経過があります。

○委員（佐藤 武君） 委員長済いません。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 今さっきは委員長の件も、委員長に初めて傍聴の許可が委ねられると認識しとんですけれども、本会議も当然、議長が許可をするわけですから、だから議長がどの誰かもわからない人を許可しますということにはならないと認識しとんですけれども。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） さまざまな意見もあろうかと思ひますし、以前の状態、それから今の状態というのがありますので、ちょっと法的根拠もあわせて、うちの議会の中でどういうふうに取り決めをしとるか、それを精査して、ちゃんと次回に報告させてもらいますので、きょうはよろしくお願ひしたいと思います。

○委員（原田素代君） ちょっと委員長、いいですか。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） たしか、前回か前々回に事務局のほうから提案されて、全員協議会でそうしてくださいとなつたんです。だからその根拠を、議長のほうからなんだか、事務局のサ

イドで判断なんだか、そこはちょっと説明していただきたい。あのとき何でそう提案されたのか。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ちょっと。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 奥田局長がよう覚えとるはずじゃ。傍聴させてくれえというて、議会基本条例の報告会のときに。瀬戸内市の議会事務局じゃったか、来たが。僕は拒みやあへんのんじゃけど文句言うたったんじゃ、僕が。覚えとろ。何でえかろうでって、おめえ、赤磐市の議会報告会しょん、あんた赤磐市の市民じゃねえし関係ねえ、議会事務局でどうのこうの言うけえ、余計腹が立ったんじゃ。黙って名前書いて入らせてくれというたら怒らんのじゃけど、議会事務局じゃけ、議長が見に行けえというて言うたんかというて言うたら、いや、それはねんじゃけど言うた。それから、金谷さんが、議長が電話してほんならまあそれじゃったらええというて、それ順番が違うで。ボタンのかけ違いの話しょん、僕は。だから、僕が例えば、奥田君が行つとるとするが、関心があるけえ見に行ったというのは、それはええがな。じゃけど、それを議会から議長が行けえ言うてからどうのこうのというたらちょっとおかしゅうなると思うてな。そういうときも名前も言うたりしょうるが。じゃから、別に僕は名前でも言うてもええんかなあと思うてちょっと思うたり。根拠がどうなったかわからん、きょうどうなるか、反対しょんじゃねんで、えんじゃけど、また正確に教えてください、それは。

○委員長（下山哲司君） それでは、この件は、前にもあったんですが私も記憶ございませんし、局長のほうがちつと、次回の議運で報告させていただくということでよろしいですか。

○委員（原田素代君） いや、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） だって、提案された局長のほうか、あのときはこういう根拠でこの提案をしましたっていうのだけ聞きたいんですよ。

○委員長（下山哲司君） いやいや、じゃから……。

○委員（原田素代君） それが、根拠がわからない。

○議会事務局長（奥田吉男君） 今ちょっと手持ち資料が。

○委員（原田素代君） 後でまた教えてください。

○委員長（下山哲司君） 次の議運でいいでしょうか。次の議運できちつと局長、お願いします。

○議長（金谷文則君） 済いません。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） 当然、議運だけじゃなくて、議員全員の関心事項だと思いますので、全協の場でもそのことについて報告をさせていただきたいと思いますので、次回によりしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君）　そういうことでよろしく願いいたします。

　執行部はありませんか。

　その他についてもないようですので、以上をもちまして第３回議会運営委員会を閉会いたします。

　ありがとうございました。

午前11時22分　閉会